

**製品名: スピンドリン 1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18194**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	30kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SPIN1
別名	SPIN1; OCR; SPIN; Spindlin-1; Ovarian cancer-related protein
遺伝子 ID	10927.0
SwissProt ID	Q9Y657
免疫原	抗血清はヒト SPIN1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 111-160

**背景**

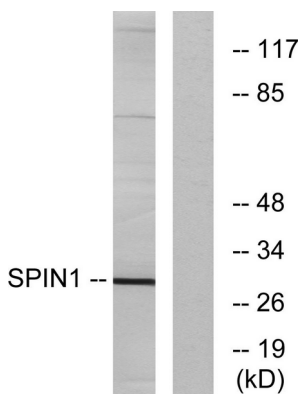
機能:配偶子から胚への移行中の細胞周期調節に役割を果たす可能性があります。PTM:卵母細胞が減数分裂成熟する過程でリン酸化されます。配列注意:グルタミン酸として翻訳されます。類似性:SPIN/STSY ファミリーに属します。機能:配偶子から胚への移行中の細

胞周期調節に役割を果たす可能性があります。、PTM:卵母細胞が減数分裂成熟する過程でリン酸化されます。、配列注意:グルタミン酸として翻訳されます。、類似性:SPIN/STSYファミリーに属します。、

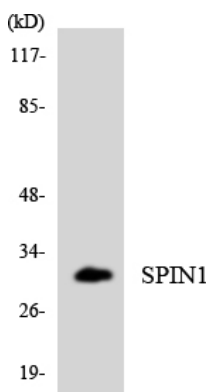
## 研究分野

細胞生物学、細胞周期、細胞分裂、紡錘体、アポトーシス、核、エピジェネティクスと核シグナル伝達、クロマチン結合タンパク質、DNA/RNA 結合、がん、発生生物学、生殖、生殖細胞マーカー、細胞死、アポトーシス、核

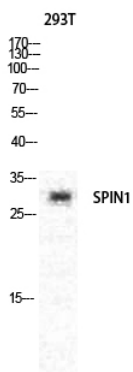
## 画像データ



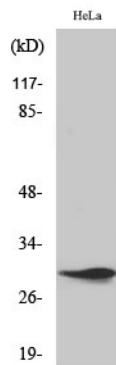
SPIN1 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



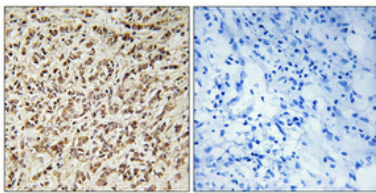
SPIN1 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 1000 に希釈した Spindlin-1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



1: 1000 に希釈した Spindlin-1 ポリクローナル抗体を使用した HeLa 細胞のウエスタンブロット解析。



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。